

# 1 岡山県産材使用の現状について

## 平成26年国産材の樹種別生産量

- 全国の素材生産量のうち、ヒノキの素材生産量は、全体の12%程度で、半分以上は、スギが占める。
- 全国的にはスギの素材生産が盛んに行われる中、岡山県は、県内で生産される素材生産量の内、約6割をヒノキが占めており、素材生産量は平成24年から3年続けて日本一を誇る。
- 平成26年のヒノキの生産量235千㎡は全国のヒノキ生産量の約1割を占めており、岡山県は全国でも有数のヒノキの素材生産県である。

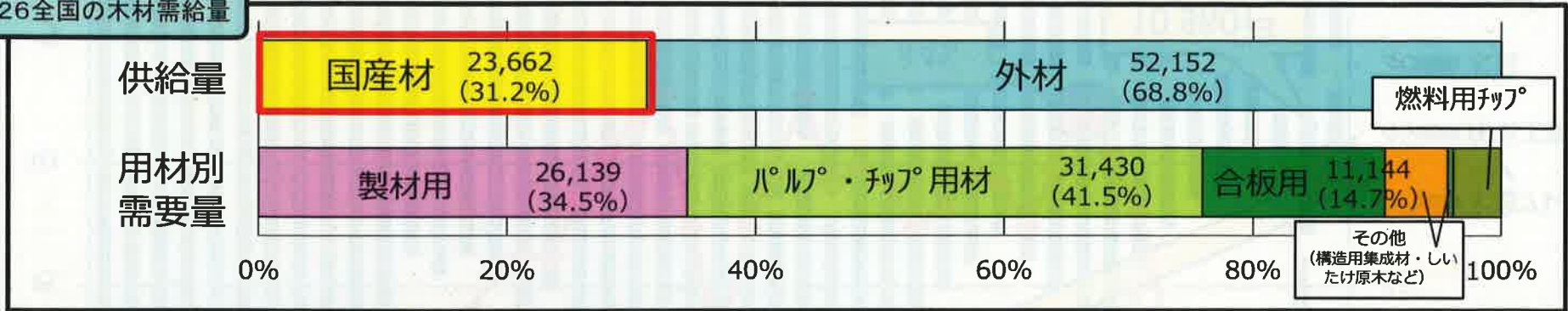
単位;千㎡

樹種 順位	ヒノキ		スギ		アカマツ・ クロマツ		その他 (カラマツ・ 広葉樹等)	計	
	県名	生産量	県名	生産量	県名	生産量	生産量	県名	生産量
1位	岡山県	235	宮崎県	1,533	岩手県	190		北海道	3,287
2位	高知県	228	秋田県	1,079	青森県	104		宮崎県	1,683
3位	愛媛県	198	大分県	785	宮城県	49		岩手県	1,398
4位	熊本県	195	熊本県	694	長野県	48		秋田県	1,217
5位	大分県	159	青森県	597	福島県	42		大分県	963
			(20位) 岡山県	151	(15位) 岡山県	8		(16位) 岡山県	407
全国		2,395 (12%)		11,193 (56%)		674 (4%)	5,650 (28%)		19,913

資料:農林水産省「平成26年木材統計」

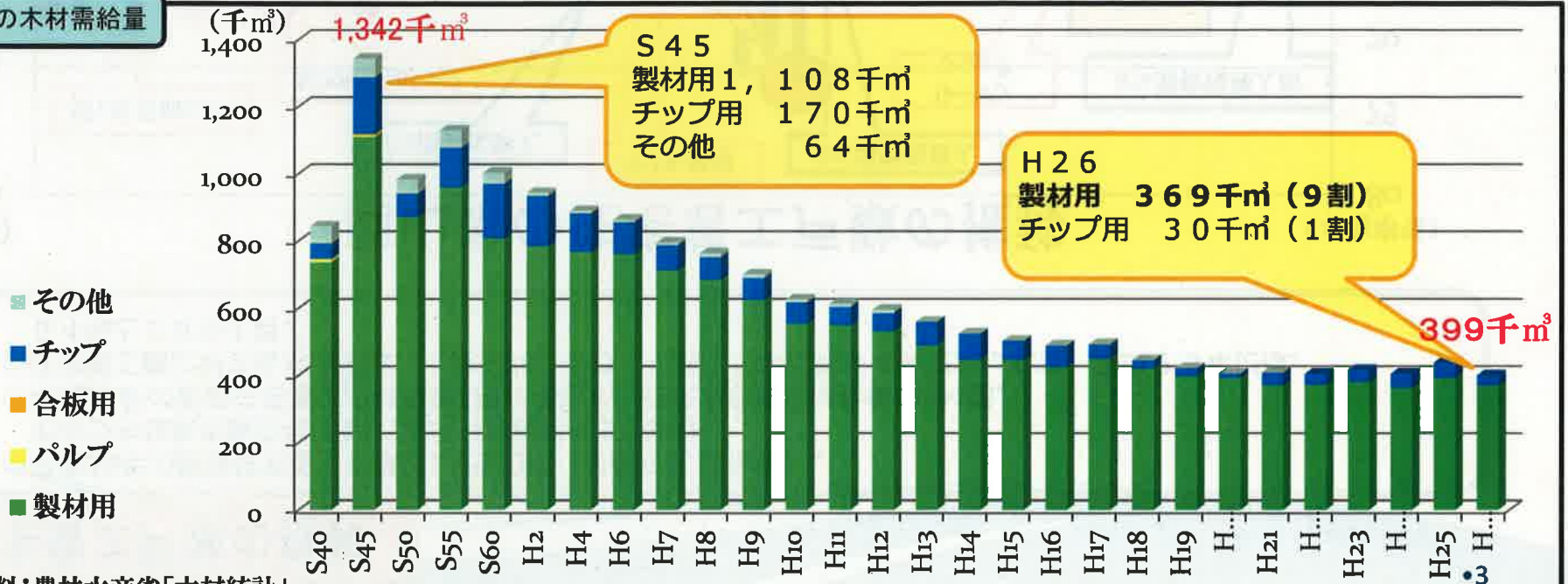
# 全国の木材需給量と岡山県木材(丸太)需要量の推移

H26全国の木材需給量



- 木材の自給率は約31.2%。木材の自給率が30%台に回復したのは、昭和63年以降初めてであり、26年ぶりのこと。(H25:28.6% H24:27.9% H23:26.6%)
- 県内の木材需要は全体の9割を製材用が占め、製材用の需要量が木材需要量に大きな影響を及ぼす。

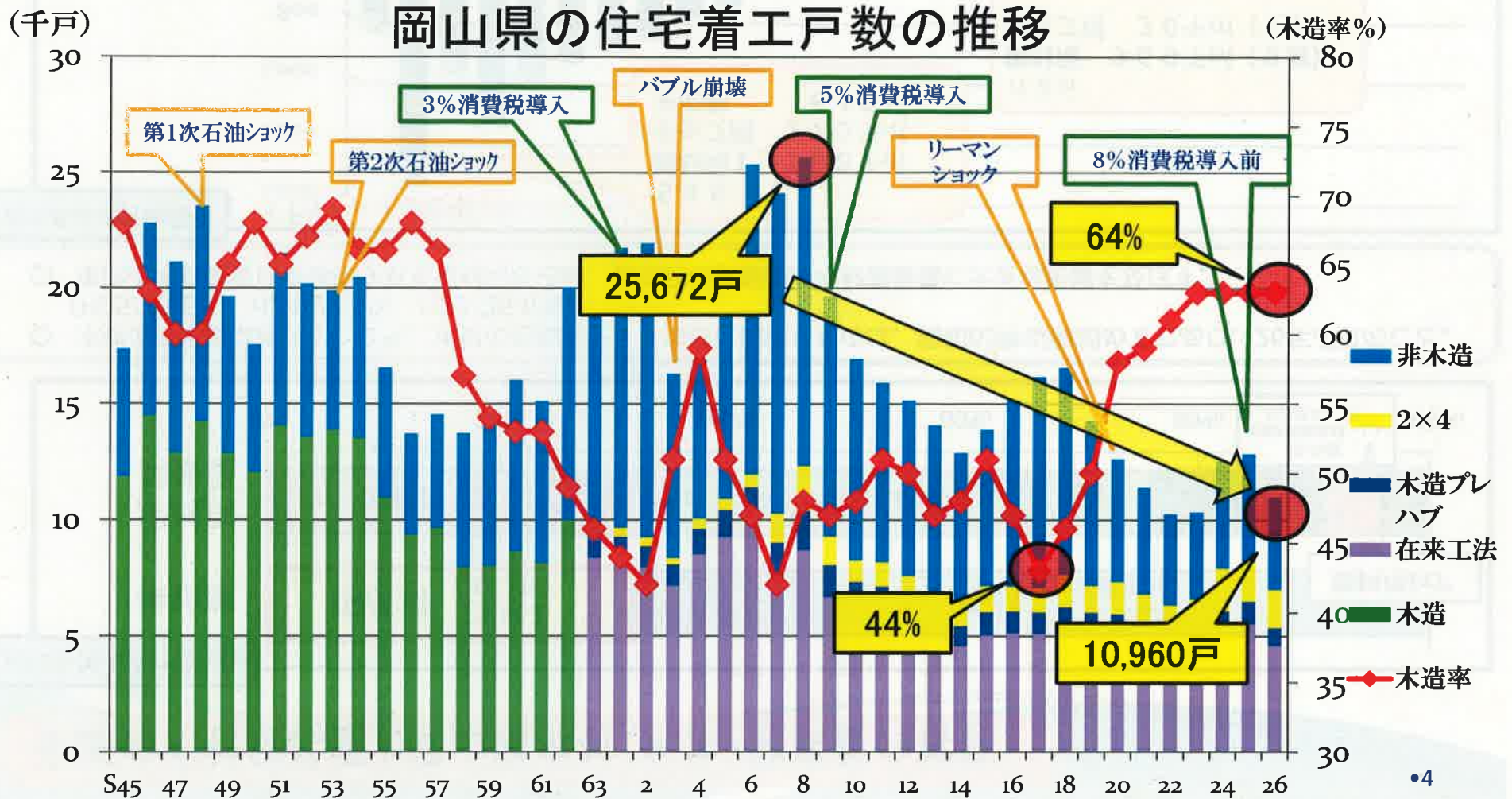
岡山県の木材需給量



資料:農林水産省「木材統計」

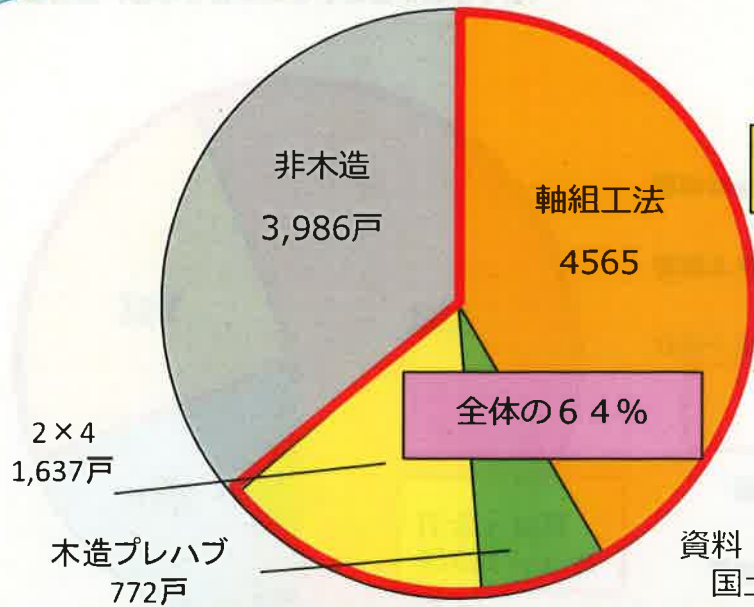
# 住宅着工戸数の推移

- 平成26年の新設住宅着工戸数は1万960戸（対前年比15%減）。そのうち在来木造住宅は4千5百戸（対前年比17%減）。
- 平成26年の新設住宅着工戸数の約6割が木造で、在来木造住宅は全体の約4割。
- 住宅着工数に対する木造率は、上昇傾向にあり、平成17年は約44%であったが、平成26年には、64%と20%上昇。

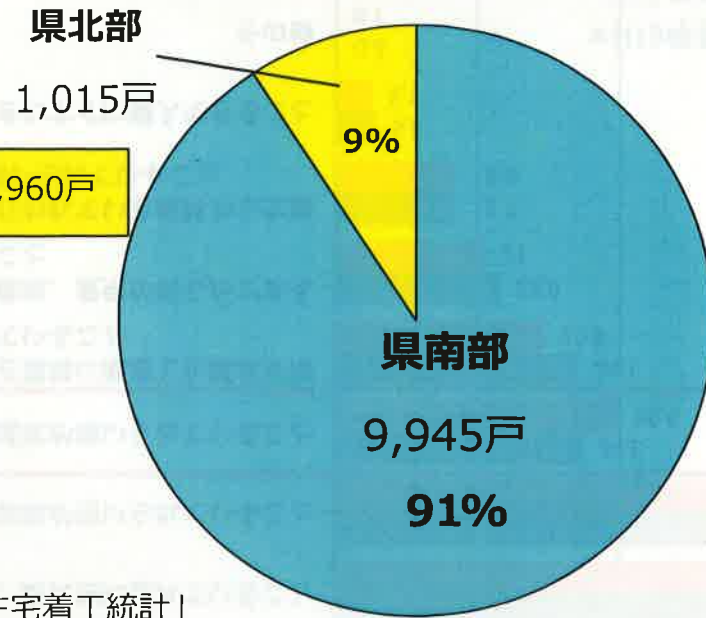


# 1 岡山県の木材生産量・需給量と住宅着工数

平成26年 新設住宅構造別住宅着工数

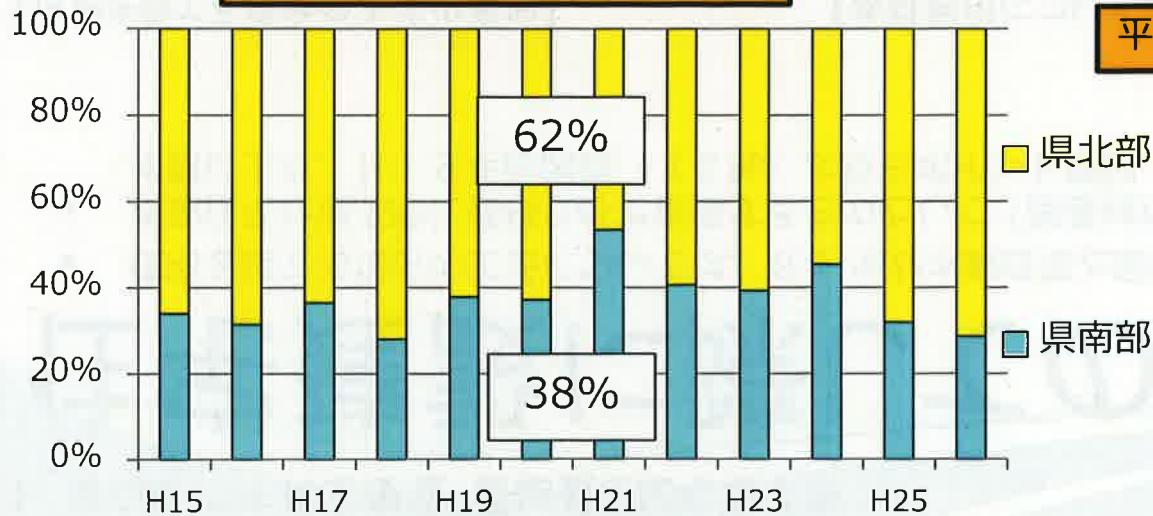


平成26年 地域別新築住宅着工数

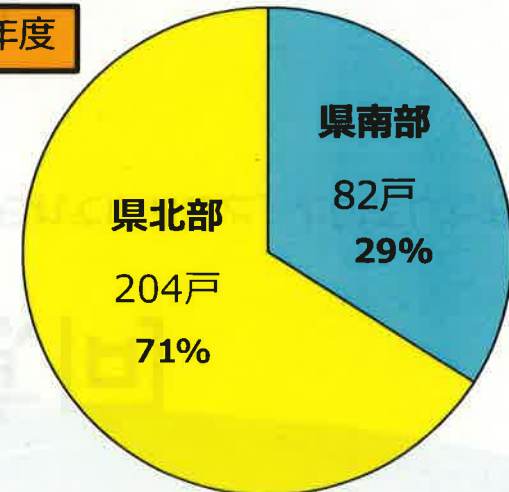


資料：国土交通省「住宅着工統計」

住宅助成事業 地域別助成割合



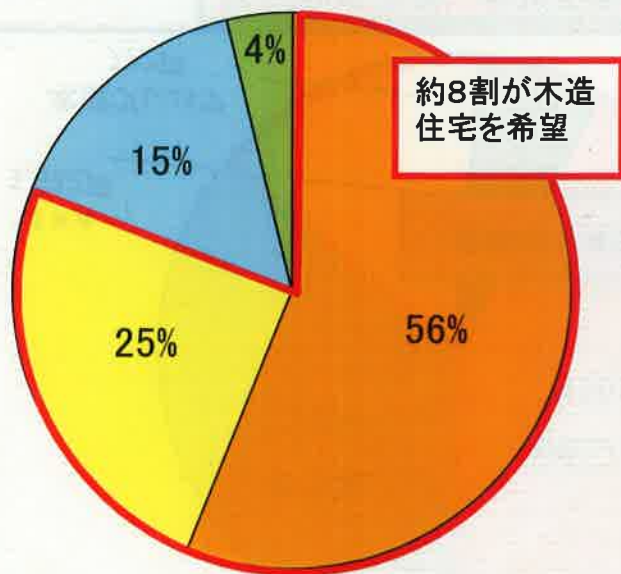
平成26年度



# 住宅建設に際しての意向

- × 住宅を建てる場合の工法については、81%が木造住宅と回答。
- × 木造住宅を選ぶ際に価格以外で重視するものとして「国産材が用いられていること」と回答した方は4割に上り、H19年度調査（35%）より5ポイント増加。

【住宅を建てる場合の工法の意向】



約8割が木造住宅を希望

- 木造住宅（昔から日本にある在来工法のもの）
- 木造住宅（ツーバイフォー工法など、在来工法以外のもの）
- 非木造住宅（鉄筋、鉄骨、コンクリート造りのもの）
- わからない

【木材利用についての意向】

